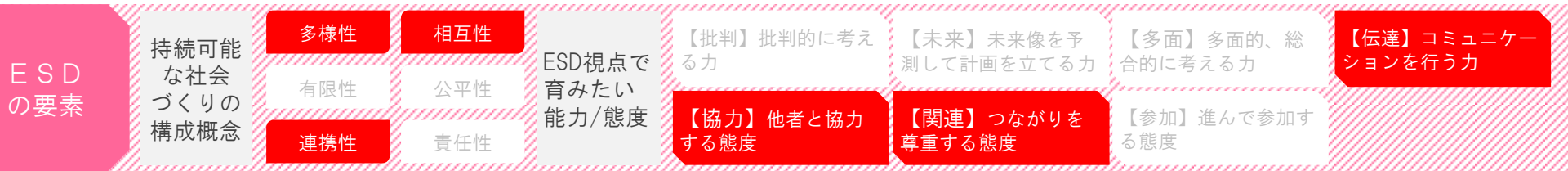


昔ながらの暮らしから考える私たちの暮らし

小学校低学年 小学校高学年
小学校中学年 中学校



プログラムの目標

- ①竈や囲炉裏、箱膳、五右衛門風呂などを利用して昔の生活を体験し、自分達の生活との違いを見つめ直す。
- ②子ども達だけで力を合わせて生活し、お互いを思いやり協力する姿勢を養う。
- ③地域住民から昔の暮らしについての話を聞き、昔の生活の中にある知恵や工夫、思いやりを感じる。

プログラムの概要

現代の生活は、利便性や快適性が追求された機器やエネルギーに囲まれているため、人間関係が希薄化したり暮らしの中で創意工夫する機会が減少している。本プログラムは、国立公園三瓶山の雄大な自然が広がる農山村を舞台として、小・中学生が地元住民といっしょに、竈や囲炉裏、箱膳など、地域に伝わる昔ながらの生活を体験し、伝統的な暮らしの中にある知恵や工夫について理解を深める。そして、自然環境と人間の暮らしのつながりから自分たちのライフスタイルを見つめ直す。

学習指導要領との関連

学年	小学校3年	小学校3年	小学校3・4年
教科/領域	社会	理科	総合的な学習の時間
学習内容	目標（１）、内容（２） 地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。 ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。	目標（２）内容（２） 身近な自然の観察、身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。 イ 生物は、その周辺の環境とかがわって生きていること。	-



循環型の暮らしを体験することで、自然環境と人間の暮らし、今昔の暮らしの関係を学ぶ。



自然環境、地域の文化、人の生き方の多様性に気づき、暮らし・生き方のあり様について理解を深める。



子どもだけで生活することで、お互いの考えを尊重しながら、協力して活動することができる。



自分一人では生活できない環境で、コミュニケーションを図ることや各自が役割分担することの大切さに気づく。



昔ながらの共同生活を通して、お互いを思いやり協力する姿勢を養う。



昔の暮らしの中にある知恵や工夫を、自分達の暮らしに活かす力を培う。

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕		
1時間目	昔暮らしを体験しよう①		批判	未来
	古民家での過ごし方について知り考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場利用のルールや安全管理、心得について共有する。 ・ 共同生活を営むための役割分担を決める。 	多面	伝達
			協力	関連
			参加	
2~5時間目	昔暮らしを体験しよう②		批判	未来
	薪を割って五右衛門風呂を沸かす。 農家の畑から野菜を収穫して夕食を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ まさかりや鉋、火、包丁を使用する際は、使用者および周囲の安全に十分に配慮する。 ・ できるだけ手出しはせずに、自分達で協力・工夫しながら取り組めるよう活動を見守る。 ・ できるだけ自分自身で収穫したものや地元の食材を扱う。 ・ 竈に火をおこし、米を炊き、おかずを料理する。 ・ 地元の伝統料理などがあれば、地元の人に指導を受けながら作る。〔薪、まさかり、鉋、マッチ、鍬、食材、調理器具〕 	多面	伝達
			協力	関連
			参加	
6時間目	昔暮らしを体験しよう③		批判	未来
	五右衛門風呂に入る。 囲炉裏を囲んで夕食を食べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 五右衛門風呂の入り方をレクチャーする。 ・ 夕食を箱膳に盛り付けて食べる。 ・ 五右衛門風呂や夕食づくりの感想をわかちあう。〔箱膳〕 	多面	伝達
			協力	関連
			参加	

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕	批判	未来
7時間目	昔の暮らしについて話を聞こう			
	地元住民から昔の暮らしについて話を聞く。	・ 車座になって地元住民から昔話を聞く。 〔座布団〕	多面	伝達
			協力	関連
			参加	
8~10時間目	昔暮らしを体験しよう④		批判	未来
	朝食を作って食べる。 お世話になった家を掃除する。	・ できるだけ自分自身で収穫したものや地元の食材を扱う。 ・ 竈に火をおこし、米を炊き、おかずを料理する。 ・ 朝食を箱膳に盛り付けて食べる。 ・ 箒、はたき、雑巾を使って掃除する。 〔薪、まさかり、鉈、マッチ、鍬、食材、調理器具、箱膳、そうじ道具〕	多面	伝達
			協力	関連
			参加	
11時間目	今昔の暮らしを比べてみよう		批判	未来
	1泊2日の体験をふりかえり、今昔の暮らしの違いについて考える。	・ 今昔の暮らしの違いや体験からの気づき、心に残った話、学びの活用方法についてふりかえり、意見交流する。 ・ 今昔の暮らしの違いから見えてくる新たな学習要素（地域課題、環境問題など）については、別途調べ学習などを行う。 〔ふりかえりシート〕	多面	伝達
			協力	関連
			参加	

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕	
12時間目	昔暮らしから学ぶライフスタイルを実践しよう		批判 未来
	活動から得られた学びや知恵を基に、生活目標を立てる。	・生活目標は、自分がチャレンジしたいことや家族といっしょに取り組むことなど、習慣化に向けた実践とする。 〔生活目標シート〕	多面 伝達 協力 関連 参加

地域プログラム化メンバー、実証協力校等

- 地域プログラム化メンバー
- ・山村留学センター「三瓶こだま学園」（大田市教育委員会）
 - ・公益財団法人しまね自然と環境財団
 - ・島根県立三瓶自然館サヒメル
- 実証協力校等
- ・山村留学センター「三瓶こだま学園」